

やめよ! 徳山ダム

徳山ダム建設中止を求める会通信
No. 89 (2011. 4. 7)

事務局 TEL/FAX 0584-78-4119
大垣市田町1-20-1 近藤方

いらぬダムや導水路の建設事業は即刻中止を! ～ 財源は被災者支援と地域復興に回せ ～

3月11日、M9.0というまさに巨大地震が起き、それによる津波が東北地方の沿岸部を襲った。犠牲者に哀悼の意を捧げ、被災者に心からお見舞い申し上げる。

襲来する津波の映像が、繰り返しTVで流れた。水の量も速さも、雨による河川の洪水の比ではない。堅固とされた防波堤はいとも簡単に破壊された。土木建築(ハード)での防災の限界を思い知らされた。これだけ広範囲の壊滅的被害に対して、人々が普通の暮らしを取り戻す”復興”にはどれだけのお金がかかるだろう?

はっきりしていることは、「これまでのしがらみで作ることになっているから作る」というたぐいの不要なダム・ダム関連事業を進めている場合ではない、ということだ。厳しい財政のあり、被災者支援と地域復興にこそ予算を振り向けてほしい。(4ページへ)

内ヶ谷ダム「検証」

2月5日 長良川市民学習会・シンポジウム

「長良川に内ヶ谷ダムは必要か?」 盛況に

フルスクエアEGで開かれたII写真II。
同ダムは、国の補助を受けて県が建設する総貯水量1150万トンの治水ダム。民主党政権が検証を指示した全国84のダムの一つで、県はことし4月をめどに対応方針を決める考えを示している。



内ヶ谷ダムの必要性考える
岐阜市でシンポジウム
郡上市大和町の内ヶ谷ダム建設の是非を考えるシンポジウム「長良川に内ヶ谷ダムは必要か?」(長良川市民学習会主催)が5日、岐阜市橋本町のハート

シンポジウムでは、長良川市民学習会の武藤仁事務局長が、県の発表資料などを基に内ヶ谷ダムの事業概要を説明。続いて、今本博徳京都大学名誉教授(河川工学)が「内ヶ谷ダムは洪水対策に有効か」と題して基調講演。内ヶ谷ダムの集水面積は約40平方キロ、長良川の流域面積は1985平方キロ。同ダムの治水貢献度は極めて限定的で、中下流の洪水調節機能にはほとんど効果がない、などと考察を述べた。

その後、今本名誉教授をコメンテーターに中濃地域のNPO法人2団体の代表者が、建設予定地の長良川支流・亀尾島川の豊かな自然環境を紹介したり、ダムではなく遊水池を活用した治水の在り方などを提言した。

(瀬見井芳信)

2011.02.06
岐阜新聞

2月22日 岐阜県知事への申し入れ … 岐阜県8団体

昨年11月24日の申し入れに重ねて、岐阜県を中心とする8つの市民団体が共同で要請書を提出した。

1 内ヶ谷ダム建設事業の検証について

(1) 必要な情報を開示し、流域住民・県民に説明責任を果たすこと。

(2) 「検討の場」の学識者委員と市民側推薦の専門家とのオープンな議論の場を設けること。

(3) 情報が公開されていない現状に鑑み、現行の日程案を強行しないこと。

2 木曾川水系導水路事業 および 長良川河口堰開門調査について

(1) 木曾川水系導水路「推進」の立場をとらないこと。

(2) 長良川河口堰開門調査実現にむけ、愛知県・名古屋市などと協力すること。



それでも進む内ヶ谷ダム「検証」作業 ～第2回「検討の場」・第2回パブコメ募集・説明会～

2月28日、突然に「第2回内ヶ谷ダム検討の場」が開催され、洪水対策5案、河川に必要な水の確保2案が提示された。明言はしていないものの「現行ダム計画優位」という方向を示している。この「第2回検討の場」資料に若干のバックデータを追加して、3月15日から5月8日まで2回目のパブコメを募集している。

また4月7日に関市で、4月21日に郡上市で説明会を行うと発表された（4月1日）。

パブコメは聞きおきだけ、説明会は河川管理者の言い分を説明するだけということになりそうだが（それが今までの例）、「第1回検討の場」で示されたスケジュールを若干変更させたのは、要請行動や第1回パブコメへの意見やシンポジウムの成果といえるのかもしれない。

4月24日(日) 内ヶ谷ツアー 主催:長良川水系・水を守る会

検証対象作業が進んでいますが、多くの人に内ヶ谷の自然を感じていただいて、ダムに沈めてはいけなさと考えて欲しいと思っています。

4月24日(日) 午前7時 郡上市大和町 大和庁舎 駐車場に集合

服装: 沢登り・溪流釣りの格好(ウェーダーなど)、帽子、軍手 カップ

参加される方は、メールで長良川水系・水を守る会にご連絡下さい。

以下のアドレスをクリックすると、メールフォームというHPが開きます。

<http://form1.fc2.com/form/?id=479788>

壊してはならない内ヶ谷の自然

クマタカはいる、イヌワシがいるかも? … 希少種「黒塗り」公開

ダムはその地域の自然環境を大きく改変(破壊)する。十分な環境調査があつてしかるべき。環境アセス法不適用に経過だが(法施行前に計画化されたから)、今の時代、「自然環境? そんなもの知らない」で通るはずがない。が、この「検討の場」では、内ヶ谷ダム環境関係の資料は何も公表されていない。情報公開請求をしたら「希少種の種名、全面黒塗り」という驚くべ

き不開示（2月3・4日付け新聞記事参照）。で、異議申し立てをすべく、もう一度インターネットで公開されている「長良川圏域河川整備計画」をみたら、P12とのp13にスゴイ情報が。「内ヶ谷ダム周辺環境調査結果」だとしてイヌワシ・クマタカ・オオタカの「揃い踏み」、イヌワシが国の天然記念物であることも記しているじゃないですか！！

そもそも岐阜県の担当者がインターネットで公開されていることも知らない、ただ機械的に「希少種は黒塗り」。何かというと「専門家の先生のご助言を頂いております」と言うけど、この黒塗りには岐阜県に委嘱されている内ヶ谷の鳥類関係の専門家も困惑している模様。

徳山ダム湛水域のイヌワシは消された？！

1月25日に「平成22年度（第2回）中部地方ダム等管理フォローアップ委員会」が開かれた。この委員会への報告をもって、徳山ダムモニタリング部会は終了となった。

報告資料では、イヌワシに関するコメントは一言もない（表の中でイヌワシが1回出てくるのみ）。1996年3月に、私たちが徳山ダム集水圏にイヌワシが生息していることを明らかにしたときから、猛禽類調査は始まった。以来、10年間に7億6000万円、さらに「徳山ダムモニタリング部会」での調査。最終報告書でイヌワシについて何の言及もしないことで、徳山ダム湛水域にイヌワシが棲息していた（残念ながら過去形で語る。これが不適切で現在形で「棲息している」と言えることを祈っている）事実まで抹殺していかうという意図を感じる。

二重三重に「徳山ダム湛水域のイヌワシは消された」。

名古屋・愛知のトリプル選と導水路事業

2月6日に投開票があった愛知県知事選・名古屋市長選・名古屋市議会解散住民投票の「トリプル選」。導水路事業と長良川河口堰開門は、そこそこに話題になった（新聞記事参照）。

大村秀章愛知県知事の誕生、河村たかし名古屋市長の再選で、古田肇・岐阜県知事の発言も微妙に変化してきているようにも感じる。

「凍結」中の木曾川水系連絡導水路事業だが、今年度も3億5000万円の予算がついている。うち「業務取扱費」（水資源機構木曾川水系連絡導水路建設所を維持する費用）が2億2200万円。「凍結」「再検討」という看板の下で、ずるずるとこんな支出が続くのは許せない。

2月17日 愛知県知事への申し入れ … 導水路はいらない！愛知の会 選挙後、早速新しい愛知県知事に要請行動を行った。

1. 愛知県として、平成23年度予算に導水路関連支出を計上しないこと。
平成23年度の国からの支払い要求に応じないこと。
2. 国交省中部地整が平成22年12月22日に開催した「第1回木曾川水系連絡木曾川導水路事業の関係地方公共団体からなる検討の場幹事会」で、愛知県を代表した出席者が発言した愛知県の立場（＝前知事の立場）は、貴職の立場とは異なり、継続性がないことを、「検討の場」事務局に、早急かつ明確に伝えること。

愛知県の今年度当初予算には、導水路事業の直轄負担金は盛り込まれなかったが、6月に予定されている補正では、どうなるか？

便利さよりのちが大事 … 浜岡原発即時停止を

「原発は5重の壁で安全をが守られている。環境中に放射能が漏れ出すことはない」と宣伝されていた。しかし”5重の壁”は次々と破られ、大気、水、土壤に高濃度の放射能が検出される事態となっている。

全電源喪失という「想定外」の事態をもたらし、それが「冷やす」機能も「閉じこめる」機能も喪失させた。格納容器、圧力容器の危機は続き、放射性物質の環境への放出（放射能汚染）が続いている。現地で作業する人々の懸命の作業が幸運にも実を結んだとしても、冷温停止するには数ヶ月かかると言われている。3月30日、東京電力の会長は「(事態が収束し、福島第一原発の廃炉に至るまで)数十年がかり」との見解を示した。

他方、「30年以内に87%の確率で起こる」といわれている東海大地震。その東海大地震の想定震源域の真上に、中部電力浜岡原子力発電所がある。夏の最も電力消費が多い時期に浜岡原発の全原子炉がトラブルで止まったことがあったが、停電は起こらなかった。実は電気は余っているのだ。

そして電気の消費を減らすのは難しくはない。「電気がないと困る！」と煽られて、危険な原発を動かし、何十年、何百年先まで問題を残し続けることは許されるのだろうか？



たとえ不便ではあっても電気はなくても人間は生きていける。停電は確かに厳しいが、節電で命が危険にさらされることはない。しかし人間は空気と水を大地がなくては人は生きられない。きれいな空気、きれいな水、きれいな大地を守り、取り戻すことが優先のはずだ。

東海大地震が起こってからでは遅い。危険な浜岡原発はただちに運転停止を。

3月27日、名古屋・栄で、若者がネットで呼びかけた『脱原発を歩こう！～ストップ HAMAOKA ぱれーど～』が300人以上（450人？）の参加で行われた。そこでは「原発卒業」というプラカードもあった。もう卒業しよう！原発頼みの暮らし。

恒例：徳山村キャンプ 8月20日・21日(予定)

多分最終回となるでしょう。 詳細は次号に。

<注目して下さい>

ぎふ・西濃 “新しい縁づくり”

～東北・太平洋沖大震災被災者受け入れ事業～

<http://gifu-en-dukuri.blogspot.com/>

「やめよ！徳山ダム」 徳山ダム建設中止を求める会 代表：上田武夫
公式HP <http://www.tokuyamadam-chushi.net> 事務局長ブログ <http://tokuyamad.exblog.jp/>
編集責任：近藤ゆり子 事務局 〒503-0875 大垣市田町1-20-1
TEL/FAX 0584-78-4119 Email: k-yuriko@octn.jp
郵便振替：00800-7-31632 年会費 1000円 カンパ歓迎

候補の考え 最終点検

六日投開票の愛知県知事選と名古屋市長選では、さまざまな分野の市民団体が、自分たちが取り組む分野で候補者の考えを聞く公開質問状を出している。大型公共事業の是非から地域の身近な課題までテーマは幅広い。多くの団体はインターネットで候補者の回答を公開。あす投票に行く前に見て参考にすることも手かもしれない。

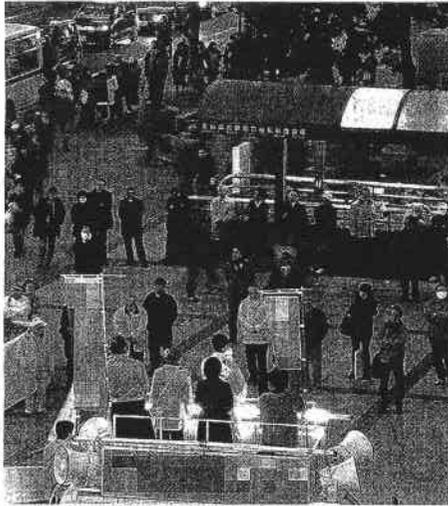
市民団体が質問状

あすトリプル投票

愛知県知事選と名古屋市長選での候補者への主な公開質問状

質問先分野	団体名	内容	知事候補者	市長候補者
環境	導水路はいらない愛知の会	木曾川水系連絡導水路事業への賛否	●	●
	設楽ダム建設中止県民会議	設楽ダム建設の是非と六条湯の保全	●	●
	ホテルの会	千種区の県職員住宅の跡地利用	●	●
	相生山の自然を守る会	相生山緑地(天白区)での道路建設	●	●
防災	なごや防災ボラネット	防災や減災への取り組み	●	●
文化	NPO法人世界劇場会議名古屋	文化振興の施策と施設整備への見解	●	●
福祉	反貧困ネットワークあいち	公営住宅や生活保護、自殺対策への見解	●	●
健康	タバコと健康を考える愛知の会	受動喫煙防止への考え方と取り組み	●	●
男女平等	ワーキング・ウーマン	女性が働く環境整備などへの見解	●	●
行政監視	豊橋市民オンプズマン	選挙ポスター作成費の公費負担見直し	●	●

公共事業、福祉…ネットに回答



帰宅途中の有権者に支持を訴える愛知県知事選、名古屋市長選の候補者=4日夕、名古屋市中区で



徳山ダム(岐阜県)の水を、木曾川に引く木曾川水系連絡導水路事業に反対する団体「導水路はいらない!愛知の会」は、事業費を負担する県や市が水の面から導水路を必要としているかどうかを尋ね、全候補者から回答を受け取った。四つの選択肢から選べる形式で、「必要は重徳和彦さん一人」「必要ない」は土井敏彦さん、八田ひろ子さんが集まり、「有権者に判断材料を示せ」と会に加藤伸久事務局長(愛知)は満足する。社会的弱者の援助活動をする「反貧困ネットワークあいち」は、若者の就職難や生活保護を期限付きとする施策への懸念や減税による福祉削減への懸念などを聞いた。回答には「中小企業の新規雇用への補助金」「生活保護世帯への民間空きアパートを活用した家賃補助などが並ぶ。ネット共同代表の和田肇名古屋大教授(労働法)は「回答には具体性もあり、当選したらぜひ実行してほしい」と手紙を添えて感謝する。「貧困が重要な政策課題だと候補者無回答も含めた反応に認識してもらいたか

- ◇愛知県知事選立候補者(5)=届け出順
- | | | | |
|-------|----|----------|----|
| 大村 秀章 | 50 | 元衆院議員 | 無新 |
| 重徳 和彦 | 40 | 元総務省課長補佐 | 無新 |
| 御園慎一郎 | 57 | 元総務省審議官 | 無新 |
| 土井 敏彦 | 64 | 医師 | 無新 |
| 薬師寺道代 | 46 | 医師 | 無新 |
- ◇名古屋市長選立候補者(4)=届け出順
- | | | | |
|-------|----|-------|----|
| 石田 芳弘 | 65 | 元衆院議員 | 無新 |
| 八田ひろ子 | 64 | 元参院議員 | 無新 |
| 杉山 均 | 54 | 元市議 | 無新 |
| 河村たかし | 62 | 元市長 | 減前 |

て検討を付け加えた。見解が分かれた回答が集まり、「有権者に判断材料を示せ」と会に加藤伸久事務局長(愛知)は満足する。社会的弱者の援助活動をする「反貧困ネットワークあいち」は、若者の就職難や生活保護を期限付きとする施策への懸念や減税による福祉削減への懸念などを聞いた。回答には「中小企業の新規雇用への補助金」「生活保護世帯への民間空きアパートを活用した家賃補助などが並ぶ。ネット共同代表の和田肇名古屋大教授(労働法)は「回答には具体性もあり、当選したらぜひ実行してほしい」と手紙を添えて感謝する。「貧困が重要な政策課題だと候補者無回答も含めた反応に認識してもらいたか

「河口堰など議論」

古田知事環境、観光では協力
古田知事は「力してきたい」と述べた。河川局長 細江市長は「手配に期待」
古田知事は「力してきたい」と述べた。河川局長 細江市長は「手配に期待」
古田知事は「力してきたい」と述べた。河川局長 細江市長は「手配に期待」

「政界への余波」

県関係者の注視
6日投開票を控えた愛知県知事選で前衆議院議員の大村秀章氏が名古屋市長選で河村たかし氏に敗れた。2日、河村市長は「中京圏の発展に貢献したい」と述べた。河村市長は「中京圏の発展に貢献したい」と述べた。河村市長は「中京圏の発展に貢献したい」と述べた。

予算計上中止を要望

反対団体 大村知事宛てに書面
徳山ダム(岐阜県)の木曾川水系連絡導水路事業に反対する市民団体「導水路はいらない!愛知の会」のメンバーが十七日、県庁を訪れ、二〇一一年度の導水路事業関連予算計上を計上しないよう求める大村知事宛ての要望書を担当課の土地水資源課に出した。

この事業に対し、名古屋市の河村たかし市長は就任直後の〇九年五月に撤退の方針を表明している。河村市長と歩調を合わせ、知事選で事業の見直しを公約した大村知事の就任

2011 2.18 中日

2011 2.5 中日新聞(夕)

内ヶ谷ダムの是非議論

市民団体が「意識の革新を」
岐阜でシンポジウム



シンポジウムで「意識を変える必要がある」と話す今本さん（右から2人目）＝岐阜市で

県が郡上市大和町に計画する「内ヶ谷ダム」の建設の是非を検証しようとして、市民団体が「長良川市民学習会」が「長良川に内ヶ谷ダムは必要か？」と題したシンポジウムを岐阜

今本名譽教授は、川の断面グラフを示し、現在の堤防の高さが、計画で設定されている河川整備の目標水位「計画高水位」より低い部分が随所あるが、「河道掘削だけで対応できる」と話した。その上で「洪水を流域全体で受け止めるという意識に変える必要がある」と指摘。堤防強化や水防活動などの危機管理の必要性を訴え

市で開いた。今本博健の「亀尾島川」の洪水対策のために計画され、78年に予備調査が始まった。重力式コンクリート製で、総貯水量は約1億500万立方メートル。事業費は03年の再算定では340億円。現在ダムは未着工だが、既に約179億円が投資されている。

またシンポジウムでは、市民団体「長良川水系・水を守る会」の亀崎敬介事務局長が「内ヶ谷には、福井県で希少種とされるカワネズミなど、川の流れの中で生きる動植物がいる」と話し、「ダムで溪流の流れを止めれば、彼らはどこに行くのか」とダム建設による環境への影響に懸念を示した。

【石山絵歩】

2011. 2. 6
毎日新聞

クマタカ確認 黒塗り

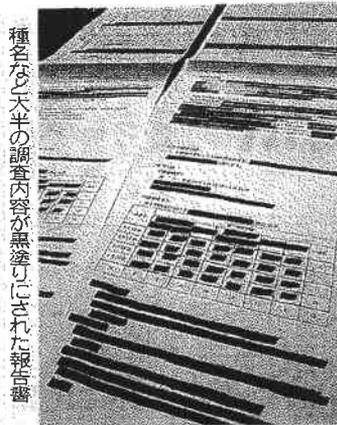
岐阜・郡上市内ヶ谷ダム 県建設反対市民に

情報公開請求

岐阜県が郡上市の長良川支流に建設を計画している内ヶ谷ダムの予定地周辺の環境調査で、環境省が絶滅危惧種の指定しているクマタカの営巣が確認されたものの、建設に反対する市民からの情報公開に対し、県が種名など調査結果の大半を黒塗りして公開したことが分かった。

内ヶ谷ダムは、民主党政権が凍結した国の補助ダムの一つ。県は国の評価基準に基づいた建設の是非の再検討を進めている。

ダム建設事業に伴う県の環境調査は一九九三年から二〇〇四年度にかけて行われ、市民が昨年十二月に同調査の資料を請求した。公開された環境調査（猛禽類）は、調査した内容から結果まで黒塗りの状態で開示された。



種名など大半の調査内容が黒塗りにされた報告書

県は「見る人が見れば、営巣の場所が特定できる」と具体的な内容は出さなかった。営巣中なので配慮して工法や計画を見直しながら進めている」と話している。

ところが、調査内容の一部は、〇六年策定の長良川圏域河川整備計画に盛り込まれ、県がホームページで公開している。

同計画によれば、現地調査で確認された貴重種の種名として、クマタカのほか、オオタカや国天然記念物のイヌワシなどを挙げている。

県は取材に対し、このうち営巣しているのはクマタカで、イヌワシは飛ぶ姿が目撃されたと説明している。

情報公開請求した市民は「種名は隠さないのが普通。賛否の意見を出す前提となる情報が出されないのはおかしい」と批判。

同ダム建設に伴う自然環境保全策を審議する県検討委員会メンバーの大家之裕・日本野鳥の会岐阜代表は「営巣地は保全のために出すべきでないが、種名は差し支えないので」と疑問を投げかけている。

2011
2.3
毎日新聞

